

## レポートの概要

### 資産クラス 四半期ごと騰落率

- 日本株式、外国債券といった資産クラスの四半期ごとの騰落率の比較です

### 資産クラス 期間騰落率

- 日本株式、外国債券といった資産クラスの期間騰落率の比較です

### 比較母集団に含まれるバランス型ファンド（8本）

- レポートで分析しているファンドを紹介します

### バランス型ファンドの運用は効率的か

- リスク・リターン平面を使って効率性を確認します

### リスクの測定

- 月間騰落率を使ってファンドのリスクを測定します

### 積立投資の結果（トータル・リターン）

- 積立投資を行ったときの結果を比較します

### NISA・手数料の効果

- NISA・手数料の影響を測定します

### 今月のピックアップファンド

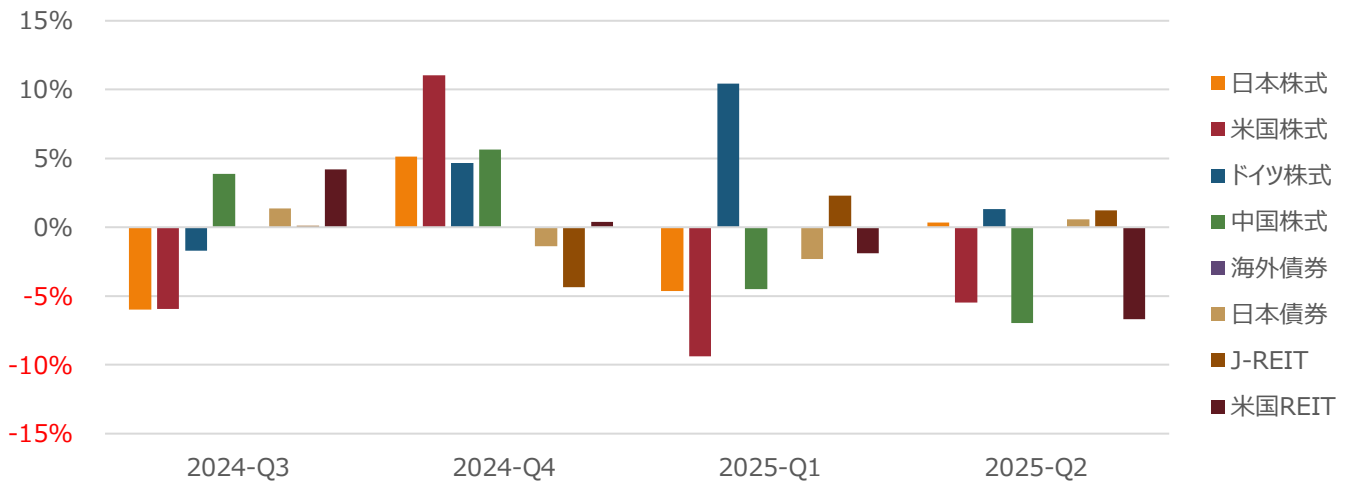
- 個別ファンドを取り上げて分析します

### 個別ファンドのレポート×8本

- 個別ファンドのレポートです

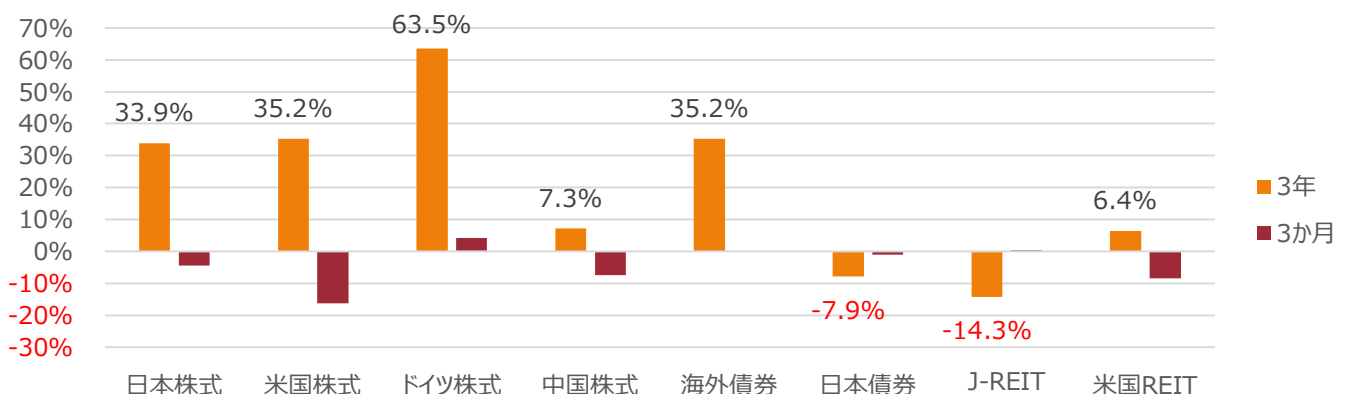
## 資産クラス 四半期ごと騰落率【2020年5月-2025年4月】

四半期	日本株式	米国株式	ドイツ株式	中国株式	海外債券	日本債券	J-REIT	米国REIT
2024-Q3	-6.0% ★ 8	-5.9% ★ 7	-1.7% ☆ 6	3.9% ★ 2	0.0% ★ 5	1.3% ★ 3	0.1% ★ 4	4.2% ★ 1
2024-Q4	5.1% ★ 3	11.0% ★ 1	4.7% ★ 4	5.6% ★ 2	0.0% ☆ 6	-1.4% ★ 7	-4.3% ★ 8	0.4% ★ 5
2025-Q1	-4.6% ★ 7	-9.4% ★ 8	10.5% ★ 1	-4.5% ☆ 6	0.0% ★ 3	-2.3% ★ 5	2.3% ★ 2	-1.9% ★ 4
2025-Q2	0.3% ★ 4	-5.5% ☆ 6	1.3% ★ 1	-7.0% ★ 8	0.0% ★ 5	0.6% ★ 3	1.2% ★ 2	-6.7% ★ 7



## 資産クラス 期間騰落率【2020年5月-2025年4月】

期間	日本株式	米国株式	ドイツ株式	中国株式	海外債券	日本債券	J-REIT	米国REIT
3年	33.9% ★ 4	35.2% ★ 2	63.5% ★ 1	7.3% ★ 5	35.2% ★ 3	-7.9% ★ 7	-14.3% ★ 8	6.4% ☆ 6
1年	-2.8% ★ 5	0.2% ★ 4	18.8% ★ 1	-5.1% ★ 7	1.0% ★ 3	-3.1% ☆ 6	-5.5% ★ 8	5.3% ★ 2
6か月	-1.1% ★ 4	-8.5% ★ 7	14.3% ★ 1	-8.5% ☆ 6	0.0% ★ 3	-2.6% ★ 5	1.8% ★ 2	-10.2% ★ 8
3か月	-4.4% ★ 5	-16.2% ★ 8	4.2% ★ 1	-7.5% ☆ 6	0.0% ★ 3	-1.1% ★ 4	0.4% ★ 2	-8.3% ★ 7
1か月	0.3% ★ 4	-5.5% ☆ 6	1.3% ★ 1	-7.0% ★ 8	0.0% ★ 5	0.6% ★ 3	1.2% ★ 2	-6.7% ★ 7

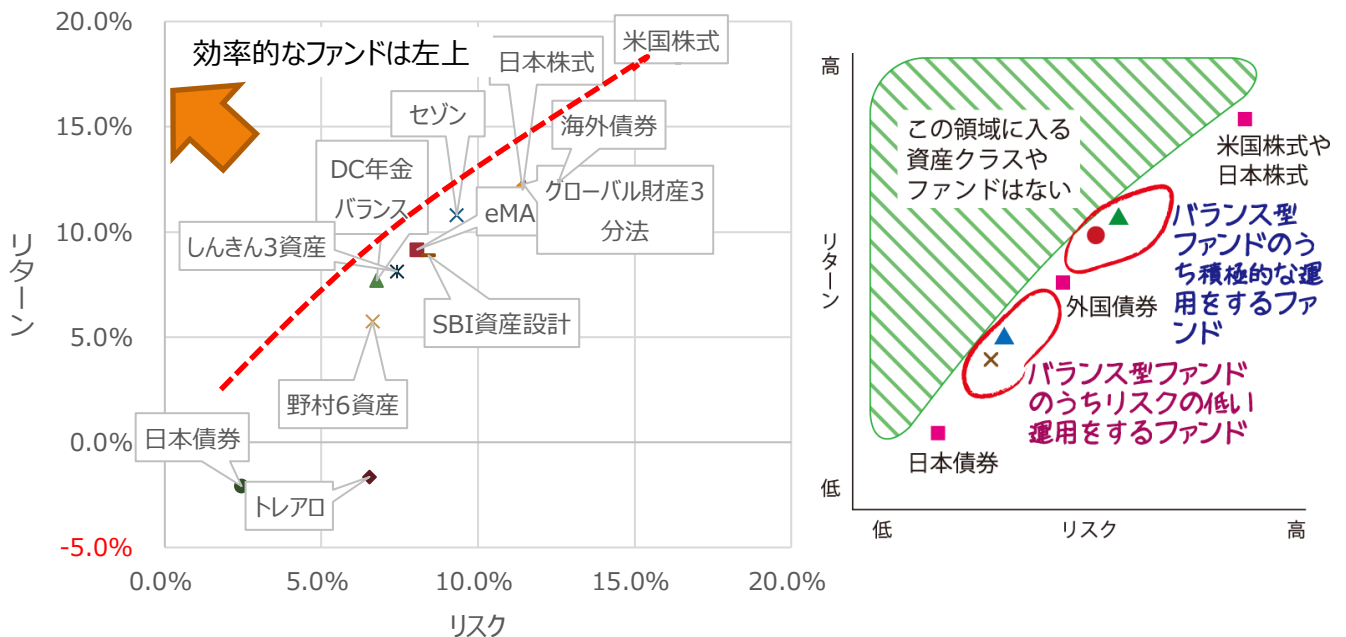


## 比較母集団に含まれるバランス型ファンド（8本）

表記	正式名称	表記	正式名称
eMAXIS	eMAXIS バランス（8資産均等型）	野村6資産	野村世界6資産分散投信(分配コース)
セゾン	セゾン・グローバルバランスファンド	SBI資産設計	SBI資産設計オープン（資産成長型）
DC年金バランス	三井住友・DC年金バランス50（標準型）	トレアロ	トレンド・アロケーション・オープン
グローバル財産3分	グローバル財産3分法ファンド（毎月決算型）	しんきん3資産	しんきん3資産ファンド（毎月決算型）

このレポートに掲載されているファンドは、①運用成績が悪くないこと②運用実績が5年以上あること③資産運用残高が大きいこと④ウェブサイト過去の基準価額等が十分に公開されていること⑤できるだけ多くの販売会社が取り扱っていること⑥バランス型ファンドであることという条件を基準に選択されています。比較母集団のファンドは、今後、入れ替えられる可能性があります。

## バランス型ファンドの運用は効率的か【2020年5月-2025年4月】



バランス型ファンドと代表的な資産クラス（日本株式、米国株式、外国債券、日本債券）をリスク（横軸）とリターン（縦軸）で表すと図のようになります。合理的な投資家は、リスクが低くて、リターンが高い資産を好みます。つまり、図のより左上の位置にあるファンドが合理的な投資家に選ばれる、効率的な運用をしているファンドということになります。しかし、「リスクが低くてリターンが高い」という投資家にとって都合がよいファンドは存在しませんから、ファンドは右上がりのラインに沿って並ぶこととなります。このラインのことを、「効率的フロンティア」といいます。

## シャープレシオ

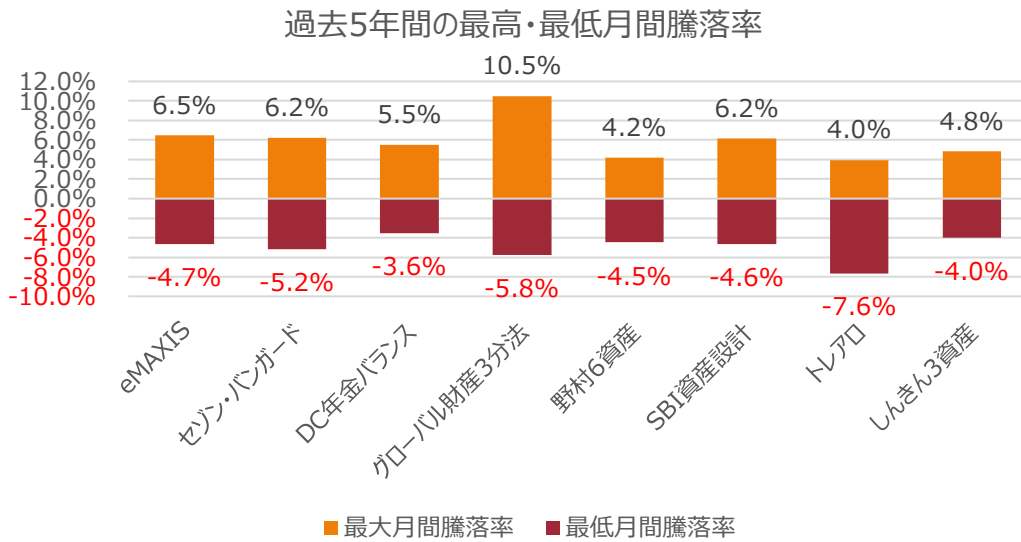
リスクとリターンの2つの属性を一つにまとめた指標がシャープレシオです。シャープレシオは、次の式で計算されます。

$$\text{シャープレシオ} = \frac{(\text{ファンドのリターン} - \text{普通預金の金利})}{\text{ファンドのリスク}}$$

	eMAXIS	セゾン・バンガード	DC年金バランス	グローバル財産3分	野村6資産	SBI資産設計	トレアロ	しんきん3資産
シャープレシオ	1.01	1.05	0.99	0.98	0.71	0.94	-0.40	0.96
順位	2	1	3	4	7	6	8	5

シャープレシオは、数値が大きいほど投資効率がよい（リスクが小さくリターンが大きい）ことを表しています。

## リスクの測定【2020年5月-2025年4月】

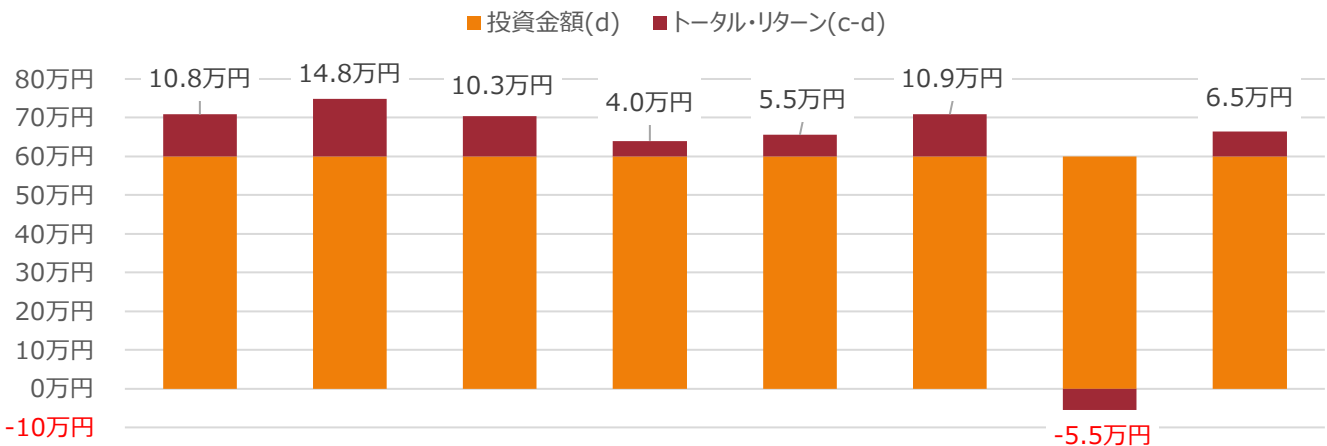


直近5年間【2020年5月-2025年4月】の月ごとの騰落率（リターン）の最高値と最低値を比較したものです。最高値と最低値の幅が広いとリスクが高い（騰落率のブレが大きい）、小さいとリスクが低い（騰落率のブレが小さい）ことがわかります。

リスクは、騰落率（リターン）の変動の大きさ（標準偏差）で表されることが一般的ですが、一定の期間を採って、その期間内の最高の騰落率と最低の騰落率を同時に示すことでもリスクのイメージをつかむことができます。

## 積立投資の結果（トータル・リターン）【2020年5月-2025年4月】

トータル・リターンは、ファンドの値上がりまたは値下がりによる増減分（キャピタルゲイン）と収益分配金による増加分（インカムゲイン）を合算した、ファンドのトータルの増減分です。ここでは、直近5年間、毎月1万円ずつ投資をしていたとしてトータルリターンがいくらになったのかを試算しています。

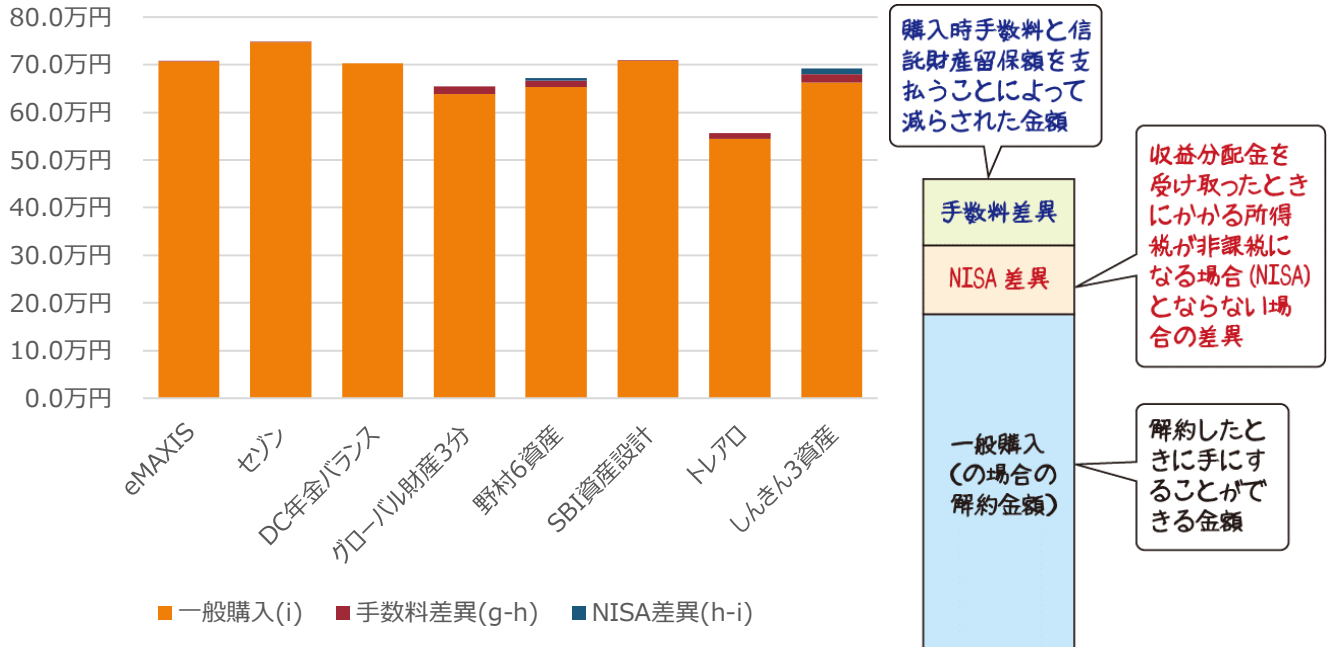


項目	eMAXIS	セゾン	DC年金バランス	グローバル財産3分	野村6資産	SBI資産設計	トリアロ	しんきん3資産
基準価額(a)	29,442	24,890	22,628	9,607	12,119	22,633	9,928	8,388
保有口数(b)	240,555	300,466	310,806	666,433	540,808	313,268	548,974	792,485
評価金額(c)	70.8万円	74.8万円	70.3万円	64.0万円	65.5万円	70.9万円	54.5万円	66.5万円
投資金額(d)	60.0万円	60.0万円	60.0万円	60.0万円	60.0万円	60.0万円	60.0万円	60.0万円
トータル・リターン(c-d)	10.8万円	14.8万円	10.3万円	4.0万円	5.5万円	10.9万円	-5.5万円	6.5万円
購入時手数料	0.00%	0.00%	0.00%	2.16%	1.62%	0.00%	2.16%	2.16%

購入時手数料は、各ファンドを購入できる金融機関から代表的な金融機関を選んで採用しています。購入時手数料は、金融機関によって異なることがありますし、同一の金融機関でも購入経路により異なる場合があります。分配金は税金（一律20.315%）控除後、再投資するように設定しています。

## NISA・手数料の効果【2020年5月-2025年4月】

ここでは、一般でファンドを購入したときとNISAを通じてファンドを購入したときの差異を、手数料（購入時手数料・信託財産留保額）の水準と（収益分配金に対する）税金の水準を明らかにしています。なお、iDeCoを含む確定拠出年金の場合の試算もNISAの場合と全く同じになります。



項目	eMAXIS	セゾン	DC年金バランス	グローバル財産3分	野村6資産	SBI資産設計	トレアロ	しんきん3資産
基準価額(a)	29,442	24,890	22,628	9,607	12,119	22,633	9,928	8,388
<b>保有口数</b>								
手数料なし(e)	240,555	300,466	310,806	681,150	554,992	313,268	561,089	825,930
NISA適用(f)	240,555	300,466	310,806	666,433	546,003	313,268	548,974	808,090
一般購入(b)	240,555	300,466	310,806	666,433	540,808	313,268	548,974	792,485
信託財産留保	0.15%	0.10%	0.00%	0.25%	0.30%	0.15%	0.00%	0.30%
<b>解約価額</b>								
手数料なし(g)	70.8万円	74.8万円	70.3万円	65.4万円	67.3万円	70.9万円	55.7万円	69.3万円
NISA適用(h)	70.7万円	74.7万円	70.3万円	63.9万円	66.0万円	70.8万円	54.5万円	67.6万円
一般購入(i)	70.7万円	74.7万円	70.3万円	63.9万円	65.3万円	70.8万円	54.5万円	66.3万円
手数料差異(g-h)	0.1万円	0.1万円	0.0万円	1.6万円	1.3万円	0.1万円	1.2万円	1.7万円
NISA差異(h-i)	0.0万円	0.0万円	0.0万円	0.0万円	0.6万円	0.0万円	0.0万円	1.3万円

グローバル財産3分法ファンド（毎月決算型）、野村世界6資産分散投信(分配コース)、トレンド・アロケーション・オープン、しんきん3資産ファンド（毎月決算型）の4つのファンドは、ノーロードファンド（購入時手数料がゼロのファンド）ではありませんので、手数料差異が大きくなっています。さらに、しんきん3資産ファンド（毎月決算型）は毎月の収益分配金が（ほかのファンドに比べて）相対的に大きいのでNISA差異が大きくなっています。その他のファンドは、ノーロードファンドかつ収益分配金がほぼゼロになっており、効率的な運用ができることがわかります。

## ■ 今月のピックアップファンド（楽天・インデックス・バランス・ファンド（株式重視型））

### ファンドの特徴

このファンドは、楽天投信投資顧問株式会社が運用するファンドで、ファンド・オブ・ファンズ方式が採用されているファンドです。このファンドが投資するファンドは株式については「バンガード®・トータル・ワールド・ストックETF」、債券については「バンガード・グローバル・ボンド・インデックス・ファンド」の2種類のみです。いずれもバンガード社の運用するETF、投資信託です。運用は、アセットクラス内でパッシブ運用が採用されていますが、株式と債券の投資比率は機動的に投資比率が変更されています。外貨建て債券は、原則、対円ヘッジを行います

年1回収益分配金が支払われる仕組みですが、設定来、分配金が支払われた実績はありません。NISAではつみたて投資枠、成長投資枠のいずれも投資対象ファンドになっています。

運用パフォーマンスについては、過去5年間のデータからリターンとリスクを推定すると、それぞれ、11.39%、9.96%（いずれも年換算）となっています。東証株価指数（TOPIX）と比較すると、リスクは下回り、リターンは上回っています。TOPIXとの相関係数は0.71程度になっていますので高くありません。セゾン投信が運用する「セゾン・グローバルバランスファンド」とシャープレシオ、ソルティルレシオを比較すると、いずれも、このファンドが下回っています。

※ 2025年3月時点で入手可能な情報に基づいて記入しています

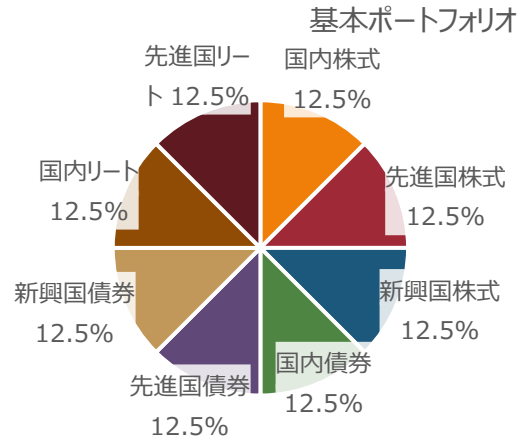
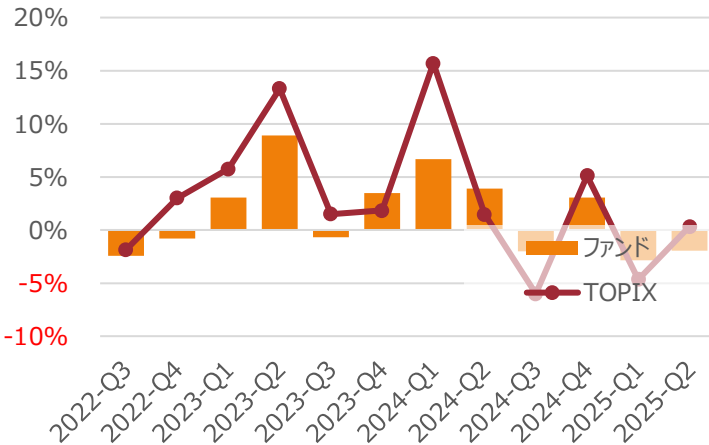
### コメント

ポートフォリオ	株式68.6%、債券31.3%（2025年3月末）
運用体制	楽天投信投資顧問株式会社（バンガード社）
アクティブ/パッシブ	パッシブ運用（資産クラス内） アクティブ運用（アセットアロケーション）
販売会社	S M B C日興証券、三菱UFJ銀行、楽天証券など
資産残高の推移	ファンドは2018年7月に設定。ファンド設定来、おおむね右肩上がりです。資産残高は増えています。2025年4月末時点で、490億円の純資産残高になっています
購入時手数料	すべての販売会社でノーロード（0%）
信託財産留保額	なし
信託報酬	年0.132%（税込み）【総経費率0.24%:第6期】
収益分配金	2018年のファンド設定以来、収益分配金が支払われた実績はない
このファンドに対するコメント	このファンドのアピールポイントは、「長期投資に適したファンド」ということができます。株式に70%投資し資産の成長を目指すとともに、債券に30%投資してリスクを抑える仕組みになっています。外貨建て債券については為替ヘッジを原則としていることも投資家にとって安心に思えるでしょう。ファンド設定以来収益分配金が支払われた実績はありません。 気を付けたい点は、ファンドの仕組み（ファンド・オブ・ファンズ）上、信託報酬（年率0.132%）より、実際のコストがかかる点です。これは、投資先のETF（上場投資信託）や投資信託でも手数料が控除されるからです。バンガード社のファンドに投資する点も含めて、セゾン投信の「セゾン・グローバルバランスファンド」に似通っていますが、主な違いは2点あります。一つ目は、株式と債券の比率です。このファンドのほうが株式投資に偏重した内容です。二つ目は、為替ヘッジです。このファンドでは、一部為替ヘッジを行っていますが、「セゾン・グローバルバランスファンド」は為替ヘッジは行っていません。



# ファンドのMIRAI

## ■ eMAXIS バランス (8資産均等型) 【eMAXIS】



### ファンドのしくみ・手数料・税金など

運用会社	三菱UFJアセット		
信託銀行	三菱UFJ信託銀行		
販売会社	SBI証券、静岡銀行、三菱UFJ銀行ほか		
購入時手数料	なし		
信託財産留保額	0.15%	純資産総額	519億円
信託報酬	0.55%		

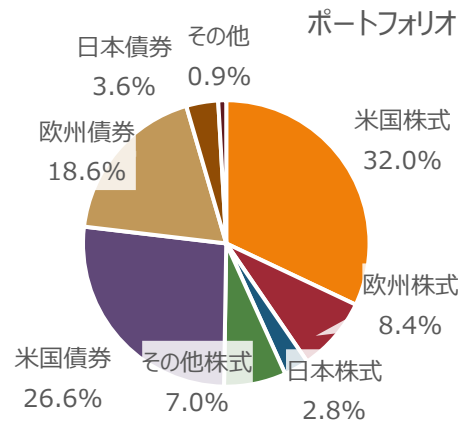
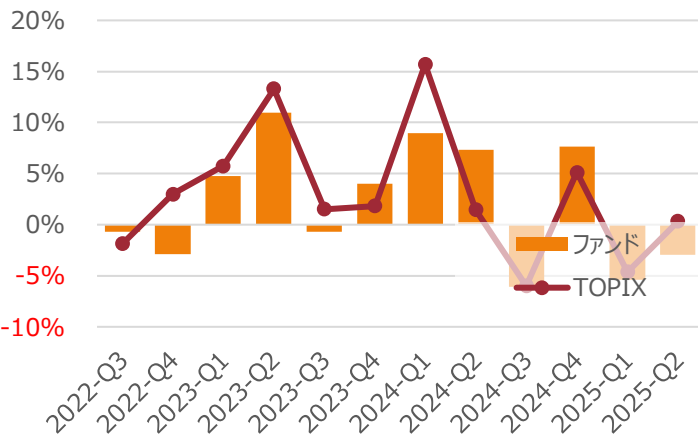
### ファンドの運用

期待リターン	9.2%	3位/8ファンド	
予想リスク	8.1%	5位/8ファンド	
日本株式(TOPIX)との連動性	75%		
直近4半期のリターンと相対順位			

税金	対象	税率	NISA,iDeCo
	収益(普通)分配金	20.315%	なし
換金・償還益	20.315%	なし	

四半期	ファンド	四分位	TOPIX(参考)
2024-Q3	-2.0%	1	-6.0%
2024-Q4	3.1%	3	5.1%
2025-Q1	-2.9%	2	-4.6%
2025-Q2	-1.9%	3	0.3%

## ■ セゾン・グローバルバランスファンド【セゾン】



### ファンドのしくみ・手数料・税金など

運用会社	セゾン投信		
信託銀行	野村信託銀行		
販売会社	セゾン投信		
購入時手数料	なし		
信託財産留保額	0.10%	純資産総額	4,985億円
信託報酬	0.61%		

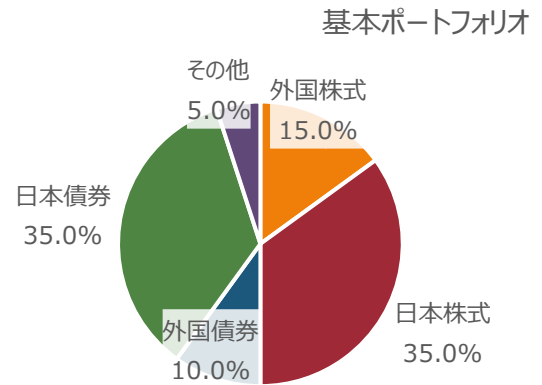
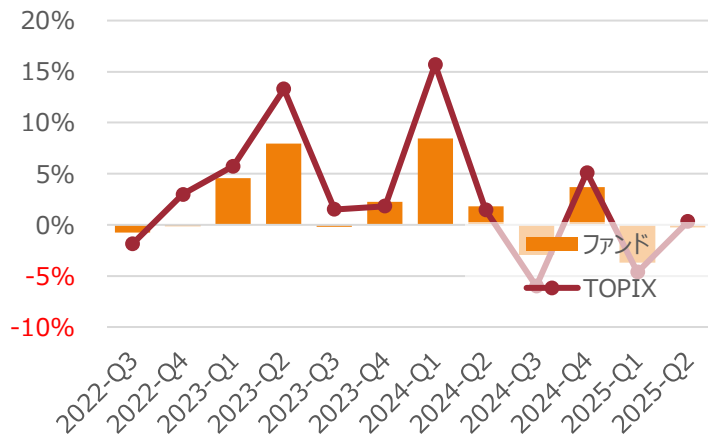
### ファンドの運用

期待リターン	10.8%	2位/8ファンド	
予想リスク	9.3%	7位/8ファンド	
日本株式(TOPIX)との連動性	66%		
直近4半期のリターンと相対順位			

税金	対象	税率	NISA,iDeCo
	収益(普通)分配金	20.315%	なし
換金・償還益	20.315%	なし	

四半期	ファンド	四分位	TOPIX(参考)
2024-Q3	-6.1%	4	-6.0%
2024-Q4	7.6%	1	5.1%
2025-Q1	-5.4%	4	-4.6%
2025-Q2	-3.0%	3	0.3%

## ■ 三井住友・DC年金バランス50（標準型）【DC年金バランス】



### ファンドのしくみ・手数料・税金など

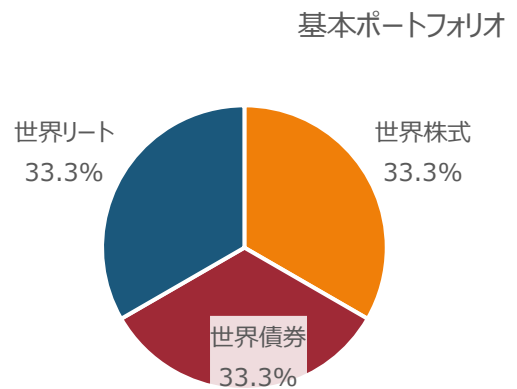
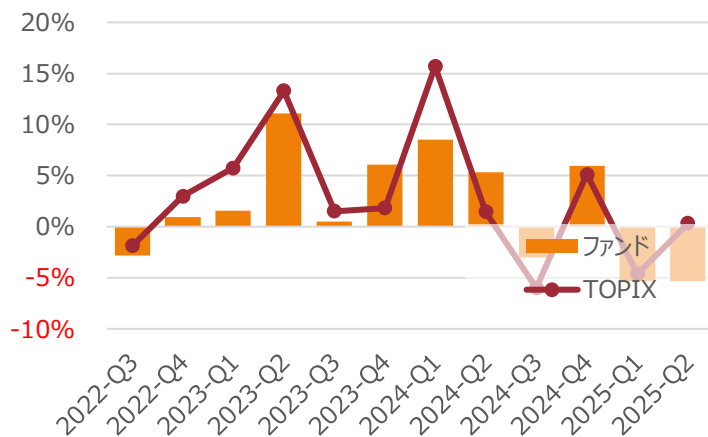
運用会社	三井住友アセットマネジメント		
信託銀行	三井住友信託銀行		
販売会社	SBI証券、楽天証券、マネックス証券ほか		
購入時手数料	なし		
信託財産留保額	なし	純資産総額	598億円
信託報酬	0.253%		

### ファンドの運用

期待リターン	7.7%	6位/8ファンド	
予想リスク	6.8%	3位/8ファンド	
日本株式(TOPIX)との連動性	91%		
直近4半期のリターンと相対順位			
四半期	ファンド	四分位	TOPIX(参考)
2024-Q3	-2.9%	2	-6.0%
2024-Q4	3.7%	3	5.1%
2025-Q1	-3.7%	3	-4.6%
2025-Q2	-0.2%	1	0.3%

税金	対象	税率	NISA,iDeCo
	収益（普通）分配金	20.315%	なし
	換金・償還益	20.315%	なし

## ■ グローバル財産3分法ファンド（毎月決算型）【グローバル財産3分】



### ファンドのしくみ・手数料・税金など

運用会社	三菱UFJアセットマネジメント		
信託銀行	三菱UFJ信託銀行		
販売会社	SBI証券、十六銀行、リテラ・クリア証券ほか		
購入時手数料	3.30%	(上限)	
信託財産留保額	0.25%	純資産総額	113億円
信託報酬	1.573%		

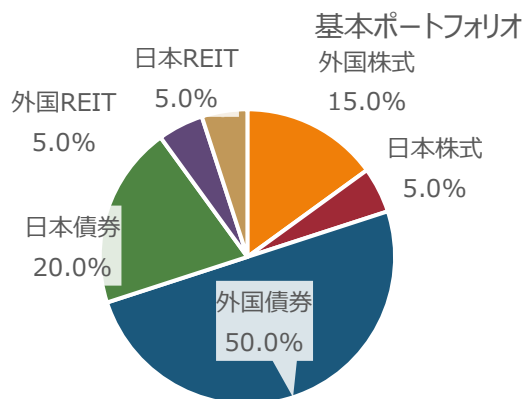
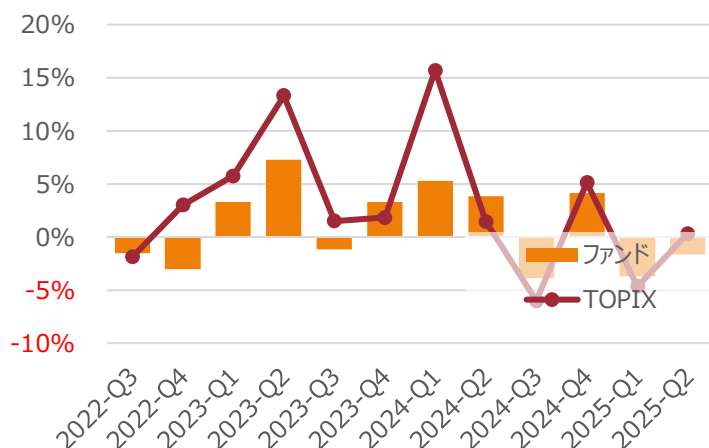
### ファンドの運用

期待リターン	12.3%	1位/8ファンド	
予想リスク	11.4%	8位/8ファンド	
日本株式(TOPIX)との連動性	68%		
直近4半期のリターンと相対順位			
四半期	ファンド	四分位	TOPIX(参考)
2024-Q3	-3.0%	3	-6.0%
2024-Q4	6.0%	1	5.1%
2025-Q1	-5.3%	4	-4.6%
2025-Q2	-5.3%	4	0.3%

税金	対象	税率	NISA,iDeCo
	収益（普通）分配金	20.315%	なし
	換金・償還益	20.315%	なし



## ■ 野村世界6資産分散投信(分配コース)【野村6資産】



### ファンドのしくみ・手数料・税金など

運用会社	野村アセットマネジメント		
信託銀行	野村信託銀行		
販売会社	ゆうちょ銀行		
購入時手数料	1.65%		
信託財産留保額	0.30%	純資産総額	1,327億円
信託報酬	0.759%		

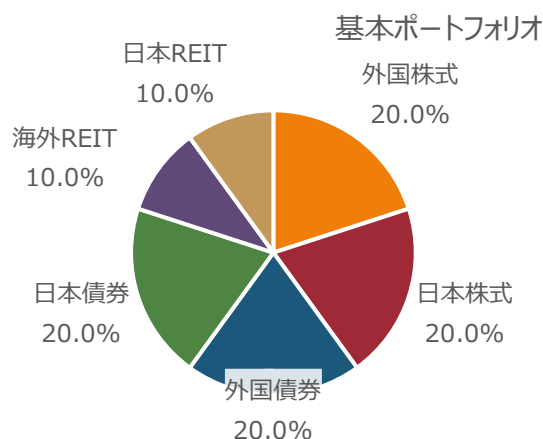
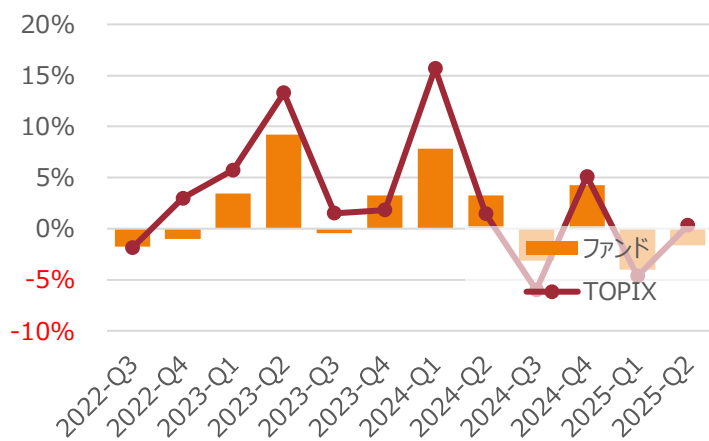
### ファンドの運用

期待リターン	5.7%	7位/8ファンド
予想リスク	8.4%	6位/8ファンド
日本株式(TOPIX)との連動性	66%	
直近4半期のリターンと相対順位		

税金	対象		税率	NISA,iDeCo
	収益(普通)	分配金		
	収益(普通)	分配金	20.315%	なし
	換金・償還益		20.315%	なし

四半期	ファンド	四分位	TOPIX(参考)
2024-Q3	-3.9%	4	-6.0%
2024-Q4	4.1%	2	5.1%
2025-Q1	-3.7%	2	-4.6%
2025-Q2	-1.7%	2	0.3%

## ■ SBI資産設計オープン(資産成長型)【SBI資産設計】



### ファンドのしくみ・手数料・税金など

運用会社	三井住友トラスト・アセットマネジメント		
信託銀行	三井住友信託銀行		
販売会社	SBI証券		
購入時手数料	なし		
信託財産留保額	0.15%	純資産総額	403億円
信託報酬	0.748%		

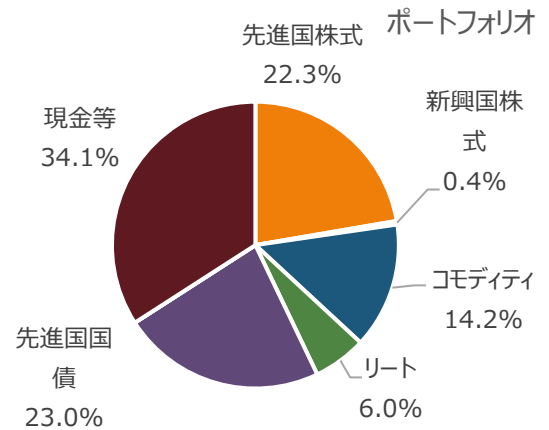
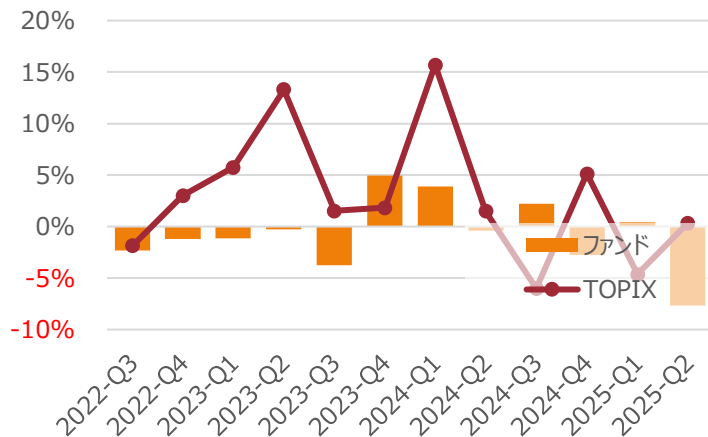
### ファンドの運用

期待リターン	8.9%	4位/8ファンド
予想リスク	8.4%	6位/8ファンド
日本株式(TOPIX)との連動性	79%	
直近4半期のリターンと相対順位		

税金	対象		税率	NISA,iDeCo
	収益(普通)	分配金		
	収益(普通)	分配金	20.315%	なし
	換金・償還益		20.315%	なし

四半期	ファンド	四分位	TOPIX(参考)
2024-Q3	-3.1%	3	-6.0%
2024-Q4	4.3%	2	5.1%
2025-Q1	-4.0%	3	-4.6%
2025-Q2	-1.6%	2	0.3%

## ■ トレンド・アロケーション・オープン【トリアロ】



### ファンドのしくみ・手数料・税金など

運用会社	三菱UFJアセット		
信託銀行	三菱UFJ信託銀行		
販売会社	SBI証券、紀陽銀行、三菱UFJ銀行ほか		
購入時手数料	2.20%	(上限)	
信託財産留保額	なし	純資産総額	496億円
信託報酬	1.183%		

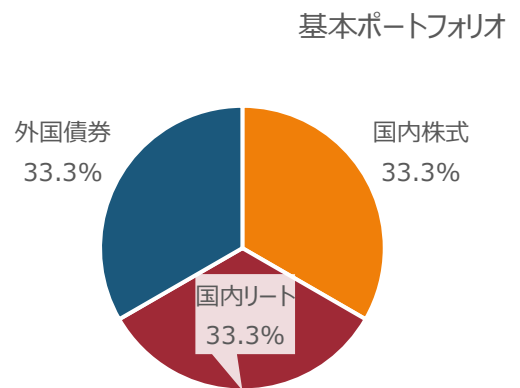
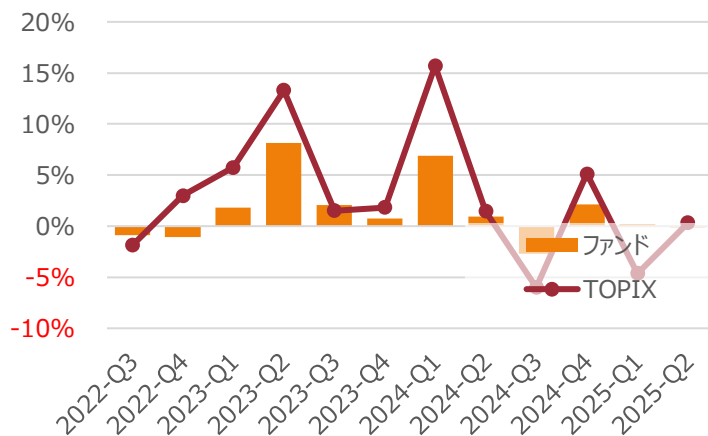
### ファンドの運用

期待リターン	-1.6%	8位/8ファンド
予想リスク	6.5%	1位/8ファンド
日本株式(TOPIX)との連動性	17%	
直近4半期のリターンと相対順位		

四半期	ファンド	四分位	TOPIX(参考)
2024-Q3	2.2%	1	-6.0%
2024-Q4	-2.8%	4	5.1%
2025-Q1	0.4%	1	-4.6%
2025-Q2	-7.6%	4	0.3%

税金	対象	税率	NISA,iDeCo
	収益(普通)分配金	20.315%	なし
	換金・償還益	20.315%	なし

## ■ しんきん3資産ファンド(毎月決算型)【しんきん3資産】



### ファンドのしくみ・手数料・税金など

運用会社	しんきんアセットマネジメント		
信託銀行	しんきん信託銀行		
販売会社	京都中央信用金庫、多摩信用金庫ほか		
購入時手数料	2.20%	(上限)	
信託財産留保額	0.30%	純資産総額	0億円
信託報酬	1.045%		

### ファンドの運用

期待リターン	8.1%	5位/8ファンド
予想リスク	7.4%	4位/8ファンド
日本株式(TOPIX)との連動性	80%	
直近4半期のリターンと相対順位		

四半期	ファンド	四分位	TOPIX(参考)
2024-Q3	-2.7%	2	-6.0%
2024-Q4	2.1%	4	5.1%
2025-Q1	0.2%	1	-4.6%
2025-Q2	-0.1%	1	0.3%

税金	対象	税率	NISA,iDeCo
	収益(普通)分配金	20.315%	なし
	換金・償還益	20.315%	なし

# ファンドレポートの解説

### ■ 期間騰落率 (棒グラフ)

過去9四半期分の期間騰落率を表示しています。直近の四半期は3か月に満たないことがあります。

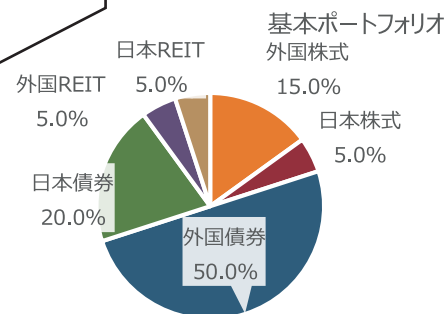
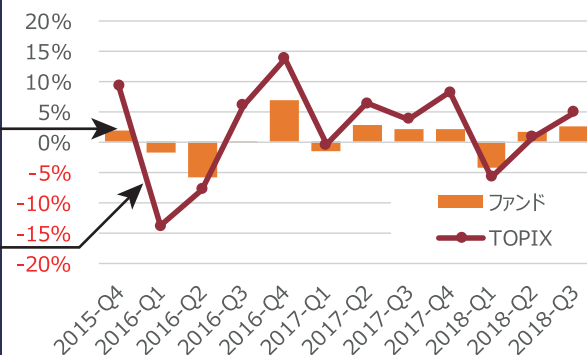
### ■ ファンド名

ファンドの正式名称を記載しています。

### ■ 販売会社

ファンドの代表的な販売会社を記載しています。

### ■ 野村世界6資産分散投信(分配コース)【野村6資産】



### ■ ポートフォリオ

直近のファンドの月次レポートが示している実際のポートフォリオを表しています。

### ■ 市場との比較 (折れ線グラフ)

期間騰落率は TOPIX (東証株価指数) と比較して表示しています。ファンドが TOPIX をベンチマークとして採用しているというわけではありません。リスクのある資産の代表として、日本の株式市場全体を表す"ものさし"として TOPIX を採用しています。

### ■ ファンドのしくみ・手数料・税金など

運用会社	野村アセットマネジメント		
信託銀行	野村信託銀行		
販売会社	ゆうちょ銀行		
購入時手数料	1.62%	純資産総額	1,189億円
信託財産留保額	0.30%		
信託報酬	0.7452%		

### ■ ファンドの運用

期待リターン	4.9%	7位/8ファンド	
予想リスク	7.9%	5位/8ファンド	
日本株式(TOPIX)との連動性	76%		
直近4半期のリターンと相対順位			
四半期	ファンド	四分位	TOPIX(参考)
2017-Q4	2.2%	4	8.2%
2018-Q1	-4.2%	3	-5.7%
2018-Q2	1.6%	2	0.8%
2018-Q3	2.6%	4	4.9%

### ■ 手数料等

購入時手数料は上限値を記入しています。

### ■ 四分位

常時比較している8つのバランス型ファンドの上位2つが1、3・4位が2、5・6位が3、下位2つが4として表示されます

### ■ 連動性

相関係数を表示しています。上限値は100%。このときファンドとTOPIXはまったく同じ動きをします。下限値は-100%。値がマイナスであれば、逆相関の関係、値がゼロであれば無相関になります。

## 2025年4月の世界の市況

### 月間の動きまとめ

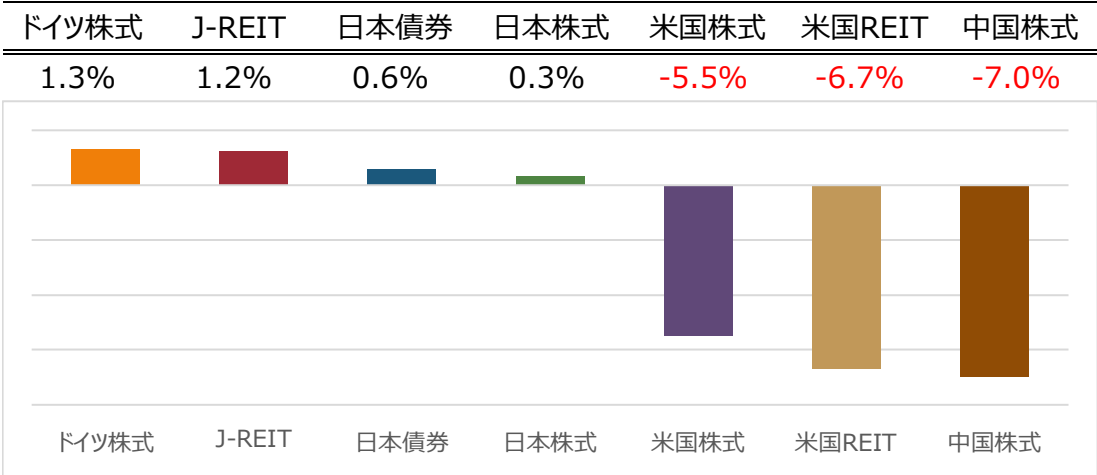
上旬、日本時間の4月4日にトランプ米大統領が各国に対する高い関税を課することを公表。即座に、米ドルとイールドが下落し、さらに、株式市場でも大きな下落となった。欧州市場でも、米国や中国の依存度の高い企業を中心に株価下落。10日はトランプ大統領が90日間の関税実施の留保を公表

中旬、トランプ政権の関税政策が話題の中心であったが、消費者物価指数の上昇が抑えられ、消費者信頼感指数が低下した。パウエルFRB議長が景気の減速に懸念を表明。ECB（欧州中央銀行）は予想通り0.25%の金利の引き下げに踏み切った

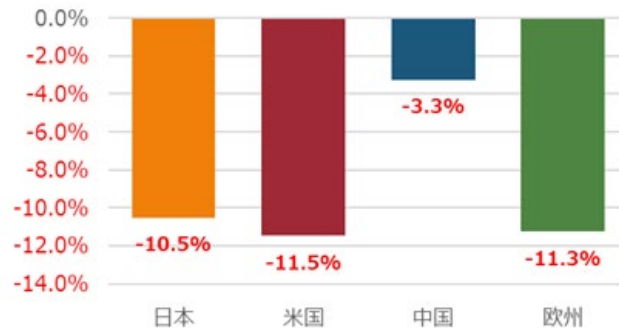
下旬、トランプ大統領がパウエルFRB議長を非難したことから株式市場が大きく軟化する場面もあったが、ベッセント国務長官が関税戦争の鎮静化に動き、世界的に株式市場は回復。IMFは米国の関税政策を理由に米中ほかの経済成長率を下方修正

日付	曜日	市況
2025/4/1	火	米国市場ではトランプ政権の関税問題の影響からSP500とダウは抜け出し指数は上昇したが、NASDAQは値を下げた。Discover Financial ServicesとCapital One Financialの合併が最終的には承認されると見込んで金融株が上昇。Teslaは四半期決算の公表の前に、ブローカーが評価を引き下げ株価は下落。そのほか、日用品や原油価格の上昇に伴って値を上げたエネルギー関連が株価上昇。欧州市場では、米国の関税に対する懸念から、株式指数は2か月来で最低の水準に落ち込んだ。一方、ボラティリティ指数はここ3週間で最高に上昇。ドイツのインフレ統計が公表され2.3%の上昇と上昇の程度が緩和した。米国の需要が低下する兆候が報じられた航空関連では英国のIAGが6.6%と大きく下落。大株主とプライベートエクイティから買収提案を受けたスウェーデンの会計会社Fortnoxは33%値下がり
2025/4/2	水	米国市場ではトランプ政権の関税に対するアナウンスを前にSP500とNASDAQは値上がりしたが、ダウはわずかに値下がり。Teslaが水曜日の四半期決算を前に3.6%株価が上昇したほか、マイクロソフト、Amazon、Metaなども1~1.8%値を上げた。ジョンソン&ジョンソンは、数万のベビーパウダー関連の訴訟を終結させる同社の提案が米裁判所から却下されたことにより、株価が7.6%下落。デルタ航空、アメリカン航空、サウスウエスト航空などの航空株は2.4~5.9%値を下げた。欧州市場では前日から市場はリバウンド。銀行やテクノロジーなどのセクターがけん引。ドイツのコメルツバンクは7.4%株高に。また、ソフトウェアのSAPが2.3%、半導体のASMLが3.1%、医療関係のNovo Nordiskが1.9%など大型株が値上がり。また、航空機の出荷数が伸びたエアバスも株価が3.2%上昇
2025/4/3	木	トランプ大統領の関税に関するアナウンスを前にして、米国市場は方向性のない市場となったが、市場終了前に株式市場は上昇。ボラティリティ指数は3月中旬の高い水準にとどまっている。CEOのイーロンマスク氏がトランプ政権の役職から外れると報じられたTeslaは5.3%株価上昇。TikTokの買収を提案していると報じられたAmazonは2%株価上昇。また、民間部門の雇用統計では2月の就労者増は堅調であった。欧州市場でもトランプ大統領のアナウンスを前に、ヘルスケアを中心に値を下げ、市場は下落。SanofiとNovartisがともに1.6%株価を下げた。Novo Nordiskも2.6%値下がり
2025/4/4	金	米国ではトランプ大統領が各国に課する関税を公表。主要通貨に対してドルが値を下げ、10年物イールドは10月中旬以降初となる4%付近まで下落。SP500は3%以上、NASDAQは4%以上値を下げた。大型株も、Appleが8%、Amazonが7%、Nvidiaが6%ほど値を下げた。セクター別では一般消費財やテクノロジーが5%以上の値下がり。欧州市場では、関税戦争への懸念から、日次リターンで、ここ8か月で最も大きく下落した。一方でボラティリティ指数は8か月で最高水準に上昇。セクター別では、銀行、基礎資源、石油・ガスなどが5%以上下落した。米国での比重が大きい、AdidasやPumaは11%以上値下がり。高級品のLVMHも完全問題から5.6%の値下がり。一方で、防衛、公益、不動産などは値を上げた

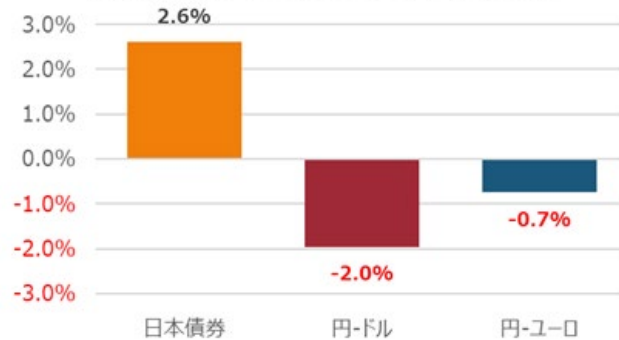
## 資産クラス別騰落率【2025年4月】



週間の市場騰落率【2025/3/28-2025/4/4】【株式】



週間の市場騰落率【2025/3/28-2025/4/4】【債券・為替】



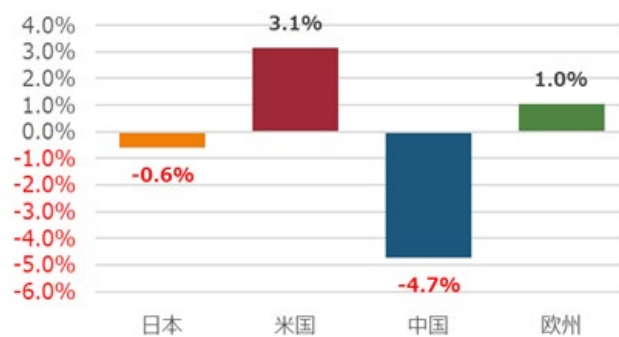


## 2025年4月の世界の市況

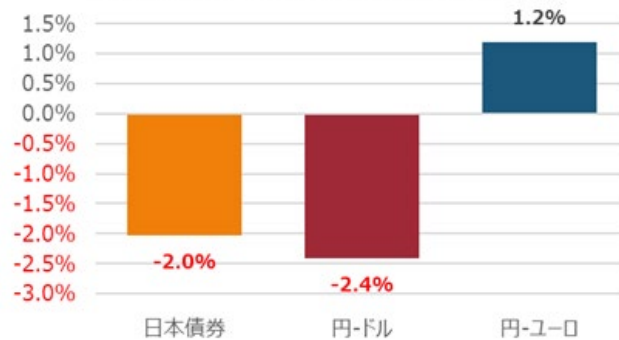
2025/4/7	月	<p>米国市場では全面的な関税戦争の様相を見せる中、SP500、ダウ、NASDAQはいずれも大きく下落し、2日で10%程度の低下となった。ボラティリティ指数は2020年4月以来の高水準に上昇。パウエルFRB議長は高い関税がインフレと低成長をもたらす可能性があるとして指摘。セクター別では全セクターが4.5%以上値を下げ、原油価格は7.3%下落した。イールドが低下し、低成長が収益性を阻害するとして、銀行セクターは7.3%の値下がり。中国市場のウェイトが高いアップルは株価が7.3%下落。欧州市場でも、株式市場は全面安となり、中国との関連が強いドイツのDAXは5%下落し、調整期間に入ったと認められる。欧州の全体的な株式市場はCOVID-19関連で市場が軟化した時以来となる5.1%の下落となった。ボラティリティ指数はここ2年間で最高の水準に上昇。セクター別では全セクターでマイナスになり、銀行セクターは8.4%値下がり</p>
2025/4/8	火	<p>米国市場では、上下動の激しい展開であったが、トランプ政権の関税政策が引き起こす経済の減速とインフレ懸念から、結果的に値を下げた。当初は値下がりであったが、その後、トランプ大統領が90日間の関税の保留を検討していると報じられると市場は値上がり。それ報道をホワイトハウスが否定すると市場は再び値を下げる展開となった。トランプ政権が関税問題を終息させる気配がない中、欧州市場でも2024年1月来の安値を付けた。域内の主要市場は4~5%の値下がり。特に貿易に感応度の高いドイツのDAXは6.4%値を下げた。ボラティリティ指数はここ3年で最高に上昇。セクター別では、すべてのセクターでマイナス。</p>
2025/4/9	水	<p>米国市場では当初は値を上げたが、その後値を下げ、最終的にSP500はほぼ1年ぶりに5000の水準を割り込む展開となった。トランプ政権が個人保険に対する支払い率を引き上げたことにより、UnitedHealth GroupやHumanaといった保険会社の株価が上昇。欧州市場では、昨日の14か月最低の水準から値を上げた。防衛や銀行関連株が市場をけん引。欧州連合は対米に対抗関税をかけることを提案。個別企業ではオランダの半導体装置関連のASMLと英国の製薬メーカーアストラゼネカが、それぞれ、4.3%、3.2%と値を上げた。ドイツのInfineon TechnologiesはMarvell Technologyのイーサーネット部門を買収すると公表し株価は0.8%上昇</p>
2025/4/10	木	<p>トランプ大統領が中国を除く国への関税の引き上げを90日間保留することを公表し、株式市場は大きく値を上げた。NASDAQは市場終了前に10%ほど値上がり。米ドルは円他通貨に対して値を上げ、国債の需要が増加したことから10年物イールドは当初の上昇分を破棄することになった。Alphabetは750億ドルのAI投資を継続することを表明し株価は10%ほど上昇。Nvidiaも市場終了前に急上昇し20%近く株価上昇。Teslaは"買い推奨"に指定されたことから16%以上の値上がりとなった。トランプ大統領のアナウンス前に市場が終了した欧州市場では3.5%の大幅な値下がりとなった。トランプ大統領から主要な課税商品とされた医薬品関連はRoche、Novartis、Novo Nordisk、AstraZenecaなどが6%前後の値下がりとなった。中国もEUも米国の関税に対して報復関税をかけるとしている。銀行関連についてはECBが来月にも金利を切り下げると見越して、株価は3%ほど値下がり</p>
2025/4/11	金	<p>米国市場では、米中の関税戦争が悪影響をもたらすとして、主要株式指数は大きく下落した。NASDAQは4%以上の下落。一方、公表された3月の消費者物価コア指数は、対前年同月比2.8%と落ち着いた水準になっている。セクター別では一般消費財以外のセクターで値を下げた。特に、エネルギーとテクノロジーが大きく下落。中古車販売のCarMaxは第4四半期の利益が予想を下回ったことで、17%の株安。欧州市場では多くの市場で2022年以降で最大の1日の上昇となった。米国が追加関税の停止を表明したために、EUも報告関税の保留を発表。ただし、ボラティリティ指数は依然として高水準にある。セクター別では銀行、鉱業、エネルギーが5.2%、3.8%、2.5%とそれぞれ上昇した。スイスのチョコレート製造のBarry Callebautはカカオ豆の高騰から業績が低下すると公表し、株価は21.5%低下した</p>
2025/4/14	月	<p>米国ではトランプ政権が対中国に145%の関税を課すとしている中で、ミシガン大学消費者信頼感指数は、3月に50.8まで大きく下落した。一方で、同レポートでは米中の関税戦争の影響を受けて長期インフレの予想が4%以上に上昇。労働省が公表した生産者物価指数は予想外に低下。株式市場では、大手行の第1四半期の決算発表を前に、主要3指数はいずれも上昇。SP500の11セクターではいずれも値を上げた。特に、素材とテクノロジーが上昇。欧州市場では、米中の関税戦争への懸念から市場は幾分値を下げる展開となった。ドイツでは株式指数は低下したが、英国では上昇と地域により市場はまちまちだった。金利感応度の高い不動産が値上がりし、産業品・サービスは値を下げた。BNPパリバはAXAの資産運用ビジネスの買収についてEUから買収資金の調達について反対を受けたために、株価が2.4%下落</p>



週間の市場騰落率【2025/4/4-2025/4/11】【株式】



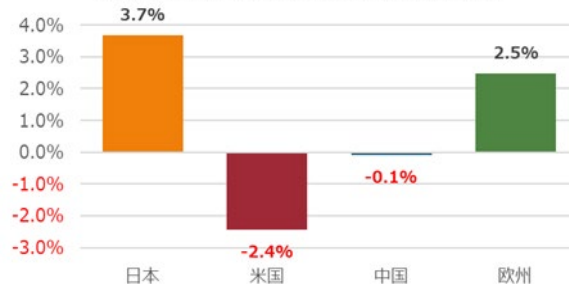
週間の市場騰落率【2025/4/4-2025/4/11】【債券・為替】



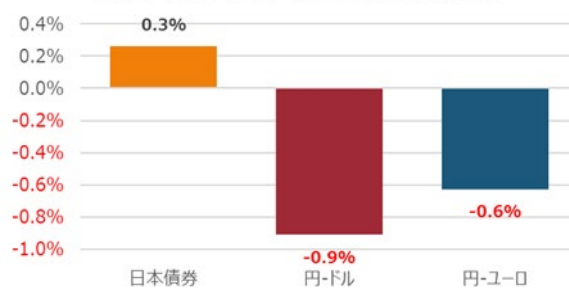
## 2025年4月の世界の市況

2025/4/15	火	<p>米国市場ではトランプ政権が携帯やコンピューターを関税の例外とすることから、Appleの株価が上昇し、主要3指数も上昇。ボラティリティ指数は8月来の高水準から下落。好調な四半期決算を公表した、ゴールドマンサックスは株価上昇。ファイザーが減量薬の製造を中止したことから、競合するNovo Nordiskなどの株価が上昇。欧州市場では、トランプ政権が関税の一部に特例の取り扱いを設定したことを受け、株式指数は2.7%の上昇。独仏西英の各市場は2%以上の値上がり。中でも、ドイツエバンク、スタンダードチャタードなどの大手行の株価が上昇したことから金融セクターが3.9%と大きく上昇。Infineon、ASML、BE Semiconductorなどの半導体関連はトランプ政権が携帯やコンピューターを関税の例外措置とすることにしたことから株価上昇</p>
2025/4/16	水	<p>米国市場では、主要3指数は少し値を下げた。四半期決算が公表され、予想を超える利益となったバンクオブアメリカやシティグループが値を上げたことにより、金融セクターは上昇。第1四半期の決算がアナリストの予想を超えはしたが、会社の予想を下回った医療部品の影響で、同社の株価は下落。また、Merck &amp; Coの株価が低下したことでヘルスケアセクターも下落。欧州市場では、米国の関税政策が変更されたことにより値を上げたが、LVMHは四半期決算で米中市場での販売が芳しくないことを公表し、株価は7.8%下落。同業のChristian Diorは8.3%、Puigは4.4%値を下げた。トランプ大統領が関税の緩和を検討しているとした自動車や自動車部品などは値上がり。Applied Materialsが9%の株式を買収したBE Semiconductor Industriesは13.3%値上がり。オランダの地質会社Fugroは米国での雇用を減らすことを公表し、株価は14.8%下落</p>
2025/4/17	木	<p>米国ではパウエルFRB議長が景気の減速に言及し、Nvidiaは中国への輸出が影響を受けると公表し株価が7%近く下落。競合のAMDも7%以上株価値下がり。半導体関連の指数は大きく値下がり、主要3指数はいずれも値下がり。保険会社のTravelers Companiesは第1四半期の利益が下落したが、株価は1%以上値上がり。欧州市場では、半導体製造のASMLが米国の関税が2025年、2026年の企業収益に不透明感を与えていると5.2%株価が下落し、半導体関連の株価の下落になり、市場全体の下落にもつながった。ASM International、BE Semiconductor、Soitec、Infineon、STMicroelectronicsなどの半導体関連株は1.3~3.2%下落。英国のアウトソーシング企業Bunzlは2025年の予想を下方修正し、自社株買い計画を撤回したことから株価下落。Heinekenは第1四半期の業績が予想を超え、株価は5%上昇</p>
2025/4/18	金	<p>米国市場では、SP500は値を上げたが、NASDAQとダウは値を下げた。医療関連のEli Lillyは肥満薬の実験がうまくいったことを公表し、株価が14%上昇。また、Appleも株価が幾分回復。年間の利益予想を下方修正したUnitedHealthは22%値を下げたため、ダウがマイナスになる要因となった。そのほかの健康保険関連のCVS HealthやHumanaも値を下げた。セクター別ではエネルギーや一般消費財が値上がり。Netflixは視聴者が予想以上に伸び、株価は2.5%上昇。欧州では、ECBが予想通りに0.25%の利下げを行い、株式市場ではわずかに値下がり。フランスのHermesは販売が予想以下となり株価は3.2%下落。セクター別ではテクノロジーや銀行が1%以上値を下げた</p>
2025/4/21	月	<p>欧米市場は休場</p>
2025/4/22	火	<p>米国では、トランプ大統領がパウエルFRB議長に対して激しい非難を浴びせたことから、主要3指数はいずれも多く値を下げた。特に、マグニフィセント・セブンと呼ばれる大型株の下落からNASDAQが最も大きく下落。セクター別では一般消費財とテクノロジーが最も下落した。Huaweiが中国の顧客向けにできるだけ早くAI関連の半導体を大量供給することを計画している報じられ、Nvidiaは4.5%株価下落。Teslaは廉価版モデルの生産が遅延していると報じられ株価は5.8%下落。欧州市場はイースター・マンデーで休場</p>
2025/4/23	水	<p>米国市場では、四半期決算の集中し、ベッセント国務長官が米中の関税戦争の鎮静化に期待を示したことなどから、値を上げた。トランプ大統領は2026年5月までの任期のパウエルFRB議長の解任を含めた非難を続けている。3Mはオーガニック製品が好調だったこともあり四半期決算の業績が予想を超え、株価は8%上昇。新しいデータセンターへの投資を保留にしていると発表したAmazonの株価は4%上昇。欧州市場では、フランスのロレアルが第1四半期の売り上げが予想を超えたことを公表し株価が6.3%上昇。金融や金属資源の価格高騰により基礎資源といったセクターが値を上げ、市場全体も幾分値を上げた。IMFは米国の関税を理由に米中ほかの国々の成長予想を下方修正。スイスの保険会社HelvetiaとBaloiseは、合併する計画を公表し、株価はそれぞれ2.6%と4.7%上昇。ライバルのEli Lilly'sが減肥薬の実験に成功したことから、Novo Nordiskは株価が7.4%下落</p>

週間の市場騰落率【2025/4/11-2025/4/18】【株式】



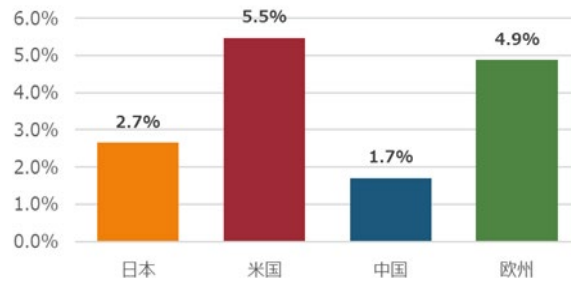
週間の市場騰落率【2025/4/11-2025/4/18】【債券・為替】



## 2025年4月の世界の市況

2025/4/24	木	<p>米国市場では米中関税戦争の緩和の兆しから、株式主要3指数はいずれも上昇。特に、NASDAQが上昇した。Teslaは第1四半期の利益が70%下落したことを受け、マスクCEOが政権での仕事を大きく減らすと発言し、株価は5.3%上昇。ボーイングは予想していたより多くの飛行機を出荷し、第1四半期の損失が予定より少なく済んだことから株価は6.1%上昇。General Dynamicsは防衛部門で堅調であったが、プライベートジェット部門が芳しくなく株価は3.3%の下落となった。欧州市場では米中の関税戦争が緩和する兆しがあったことで3週間ぶりの高値となった。特にドイツのDAXは3.1%の上昇。ドイツのSAPは第1四半期の業績がアナリストの予想を超え株価は10%を超えて上昇。米中関係の緊張緩和の兆しから銅価格が上昇し、基礎資源セクターも3.3%の大幅な上昇。また、銀行セクターも3.8%の上昇となった。ソフトウェア会社のTemenosは第1四半期の売り上げが予想以下となり株価は7.1%の下落</p>
2025/4/25	金	<p>米国市場では企業決算の動きを見ながら米中の関税戦争のサインを見る展開となり、テクノロジー関連が値を上げ、市場全体も値上がり。特に、AI関連のServiceNow'sが好調な決算であったことからNASDAQが上昇。P&amp;G、ペプシコ、Chipotle Mexican Grill、アメリカン航空などが消費者の動向が見通せないとして業績の見直しを引き下げ、あるいは、公表しなくなった。欧州市場では自動車や素材などを中心に値上がり。フランスのルノーは第1四半期で売り上げが少し伸びたことから株価が4.4%上昇。BNPパリバは四半期決算の内容がまちまちで株価は2.1%下落。フィンランドのNokiaも四半期決算の結果が予想以下にとどまり株価は9.4%下落。一方で、ドイツのアディダスは予想を超える四半期決算となり株価が2.9%上昇</p>
2025/4/28	月	<p>米中の関税戦争の緩和の兆しとして、中国は米国からの輸入品について125%の関税を解除し、トランプ大統領は中国との対話が進んでいることを明らかにした。米国市場では、magnificent sevenと呼ばれるAI関連の大手株が上昇し、SP500とNASDAQは値を上げた。ダウは横ばい。ミシガン大学は4月の最終版の消費者信頼感指数を公表したが、確定版でも2022年7月以来の低水準となった。Alphabetは、クラウドサービスの収入が28%上昇し、1.6%株価上昇。インテルは芳しくない業績を公表し、株価は7%近く下落。欧州では、株式市場は上昇し3週間来の高値になった。防衛関連、建築・資材関連はいずれも1.8%の上昇。フランスのエンジンメーカーSafranは第1四半期の売り上げが予想を超え、株価は4.2%上昇。Siemensはブローカーが評価を引き上げたために株価は3%上昇。また、スペインの保険会社Mapfreも第1四半期の業績が好調で株価は8%上昇</p>
2025/4/29	火	<p>米国市場では、Apple、MetaなどのMagnificent Sevenと呼ばれる大手銘柄が今週に決算を発表するのを前に、方向性のない市場となり市場は横ばい。中国が先週末に米国からの輸入品の一部について125%の関税の例外とする措置を公表したことで、センチメントは回復している。ボーイングはブローカーの格付けと目標株価が引き上げられ株価上昇。欧州市場では、米中の関税戦争の緩和の兆しを受けて、ほとんどのセクターで上昇し、市場全体も値を上げた。デンマークの製薬会社Novo Nordiskの株価が2.6%上がったことを受けヘルスケアセクター全体も1.3%上昇し、銀行株も1%上昇。ECB幹部は6月にさらに利下げする方向であるとコメント。HSBC、ドイツエバンクなどの大手行は今週決算報告の予定である。英国の食品配達DeliverooはDoorDashから買収提案を受け株価は16.5%上昇</p>
2025/4/30	水	<p>米国ではトランプ政権の関税政策が軟化したことに加え、イールドが低下したことにより、株式市場は値を上げた。ただし、自動車株は関税の緩和にほとんど反応せず、GMは第1四半期の業績はよかったものの年間の予想を取り消し、株価は0.6%軟化した。Honewellは第1四半期増益となり、株価も5.4%上昇。カンファレンスボード消費者信頼感指数は2020年5月以来の低水準となった。欧州市場では、防衛・航空セクターがけん引して市場は値上がり。欧州最大の弾薬メーカーであるRheinmetallは第1四半期の売り上げが46%上昇し、株価も8.5%上昇。デンマークのNovo Nordiskは減肥薬の販売で遠隔医療の会社と共同作業を進めていると公表し、同社の株価は2.4%上昇。HSBCは30億ドルの自社株買いを公表し、ドイツエバンクは第1四半期の利益が39%上昇したことから、株価がそれぞれ、3%と5%上昇した。フランスのITコンサルティングのCapgeminiも第1四半期の売り上げが堅調で、株価は5.6%上昇</p>

週間の市場騰落率【2025/4/18-2025/4/25】【株式】



週間の市場騰落率【2025/4/18-2025/4/25】【債券・為替】

